

No. **44** 号
2025年5月号
(令和7年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 令和6年度 寄附の報告
- P.2センターレポート 『支援者間交流会』
- P.3お役立ち情報
- P.4センター情報・平塚市情報

センター
レポート

多機関連携を進める『支援者間交流会』



平塚市情報

令和6年度 寄附の報告

市民活動支援のために、合計 **258,078円** の御寄附が集まりました!

寄附合計額：258,078円

たすけ愛文庫(センター窓口前)からの寄附…合計153,422円(読み終わった本の寄附も募集中です!)

今年度も随時、御寄附をお待ちしております。市民活動支援のための御寄附をお願いいたします。

平塚市協働推進課

●ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

センター
レポート

多機関連携を進める『支援者間交流会』



平塚市では様々な困難を抱える方々に対して、各種相談機関が設置されています。一方、民間でも平塚市社会福祉協議会を中心に各種支援機関・NPO等がそれぞれの専門性を活かして相談対応や居場所づくりを行っています。しかしながら、複合的な課題を抱えている方々（例えば、障がいを抱える高齢の両親の介護のため仕事ができず、子どもも発達に障がいがあるシングルマザー、長い間引きこもっている息子はアルコール依存症で就労が困難、自分も高齢で年金も少なく生活が困難な方、等々）については、多機関の連携が重要ではないかと考え、支援機関（者）同士が顔の見える関係をつくるため、支援者間交流会を開催しました。

第1回支援者間交流会（市社協協力）

日時●令和6年6月20日(木) 14時～16時
参加者●22名(市民活動団体8団体9名、他支援機関13名)

生活支援、就労支援、引きこもり・不登校支援等の分野で活動している方々が集まり、自己紹介後、単独では対応が難しい課題の解決や、より充実した活動に向けたネットワークづくりを目的に意見交換しました。

当日は、平塚市社会福祉協議会「コミュニティソーシャルワーカー」の内田さんより「複雑化・複合化したケースはどのように支援していったらいいか?」と題した具体的な実践事例と、厚労省が進めている「重層的支援体制整備事業」について説明がありました。その後のグループワークでは、多機関連携が進むと課題解決の一步につながる、日々活動しているがこのような交流の場は少ない、機会を意識的に作っていく必要がある、など活発且つ具体的な意見交換ができました。

アンケートでは、「平塚各支援者・事業所の具体的な活動を知ることができた」「時に孤独を感じることもあるが、皆さんのパワーを感じて横の繋がりをしっかり作りたかった」といった声があがりました。



▶ 第1回支援者間交流会の様子

参加団体

【市民活動団体】

- こころの相談室つむぐ ● やどりば
- 精神保健福祉ボランティアグループこんぺいとう
- 平塚パトロール ● 親の会パレット
- NPO法人 湘南NPOサポートセンター
- フリースペースいるえんぴつ
- 神奈川県社会福祉士会湘南西支部

【他支援機関】

- ウェルビー平塚駅北口センター
- 就労支援施設タイガーマーリン・ドラゴンマーリン
- つるかめ訪問看護ステーション
- 地域活動支援センターシグナルひらつか
- 神奈川県西部地域若者サポートステーション
- キルクももはま ● ほっとステーション平塚
- 就労継続支援B型StudioR ● (一社)ペガサス
- はたらっくひらつか



第2回支援者間交流会（市社協との共催）

日時●令和7年2月26日(木) 14時～16時
参加者●40名(市民活動団体10団体21名、他支援機関9団体19名)

第2回は(一社)全国手をつなぐ育成会連合会常務理事の又村あおいさんを講師に迎え、本人・世帯の属性に関わらず、どんな複雑な問題でもまるごと受け止めるべく多機関と連携・支援していく必要性和方法を学びました。

又村さんからは、1つのケースに潜んでいる問題は1つではなく、複合的な課題が存在し、それらがお互いに絡み合っている。その課題解決の為に多角的な視点と支援が必要であり、「地域共生社会」という概念が大切である。さまざまな生活上の課題を「他人事」ではなく「我が事」として受け止めるとともに、これまでの「縦割り」的な福祉施策から脱却して「丸ごと」支援を展開していく取組みが不可欠。支援する人・される人という関係ではなく、支援される人は別の領域では支援する人にもなり得る、など具体的な事例を基に説明いただきました。

アンケートでは「福祉や障がいの観点から考えると、支援者と受け手という形に固執してしまい、受け手の自立や生きがいについて考えることを怠ってしまうと感じた」「地域共生を考えていくことに気づかされた。自分達だけで抱え込まずに連携していくことが、支援者・支援される方にとってもいいと思った」といった声いただきました。



▶ 第2回支援者間交流会講師の又村さん



参加団体

【市民活動団体】

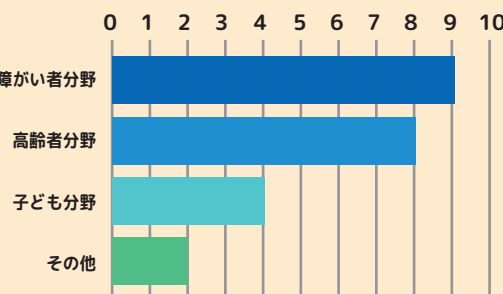
- 神奈川県社会福祉士会湘南西支部 ● 湘南あゆみ会
- 親の会パレット ● 平塚市手をつなぐ育成会
- 精神保健福祉ボランティアグループこんぺいとう
- そらいろの会 ● あいあいリトミック
- 神奈川県傾聴赤十字奉仕団 ● フリースペースいるえんぴつ
- NPO法人きしゃポッポ

【他支援機関】

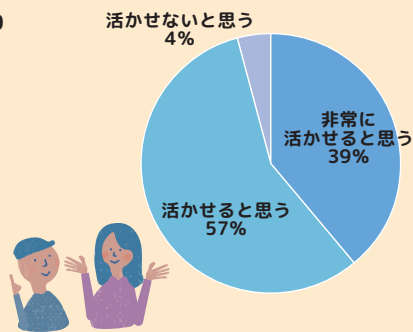
- 平塚市高齢者よるず相談センター ● ケアプランアムレ
- 相談支援事業所ゆい ● シグナルひらつか ● 老健なでしこの里
- マザーケアプラン ● 就労支援施設ドラゴンマーリン
- 神奈川県西部地域若者サポートステーション

第2回目に参加された団体に聞きました。

1. あなたの所属分野は何ですか？



2. 今後の業務に活かしますか？



2回の支援者間交流会を実施した結果から、各支援機関やNPO等が広範なニーズを視野に、地域・分野横断的な視点を持ったネットワークの整備、各支援機関との連携や引継ぎをスムーズに行える体制づくりが更なる課題であると考え、令和7年度も支援者間交流会を開催する予定です。(さ)



お役立ち情報

団体の広報って何だろう？

令和6年度かながわボランティア活動推進基金21・ボランティア団体成長支援事業「パブリックリレーションズ・サポート・プログラム」で提供された”広報力UPに役立つ3つのポイント”をお知らせします。



POINT 1 広報＝『情報発信』ではない

広報は外部に向かって情報を発信するというイメージを持たれていると思います。しかしながら広報とは、「情報を発信して社会との関係を築く活動」であると考えれば発信の内容がより明確になります。目に留まりやすいデザインやSNSのフォロワーの増やし方といったスキルやテクニックではなく、「**広報力を上げる**」＝**団体の「つながる力を強くする**」の面から団体の広報について考えてみてはいかがでしょうか？

POINT 2 課題を整理する

センターで行ったアンケートでもこれからの活動に必要なものは『情報発信力』との回答が約2割を占めています。既に多くの団体が様々な媒体を活用しているかと思いますが、「発信しているのになかなか反応がない…」とお悩みの声はセンターにも寄せられています。情報発信力が弱いと考える理由や、情報を見てほしい相手に届かない理由は何か、一度課題を整理してみませんか？

団体内の課題

- ・ 事業が忙しくて広報に手が回らない
- ・ 団体や活動のことを簡潔に表現できない
- ・ 広報を担当する人を決められない
- ・ 広報スケジュールを考えていない



届け方の課題

- ・ 情報を届けたい相手を明確にできていない
- ・ 相手に届ける手段がわからない
- ・ 広報ツールの効果的な活用方法がわからない

POINT 3 団体の「共通言語」を持つ

団体のビジョン・ミッションを会員相互で共有できていますか？ NPO・市民活動団体は目的を持って活動しています。自分たちは誰のため何のための団体なのか、その目的や存在意義を簡潔に表したのがビジョン・ミッションです。

- **ビジョン**：団体が目指す理想の社会
- **ミッション**：理想の社会のための行動指針

長年活動している団体もこれから団体を立ち上げようと考えている方も、改めてビジョンとミッションを明確にしてみませんか？ 事業を活動の起点にするのではなく、「社会課題を解決し、目指したい理想の社会」→「そのために団体がやるべきこと」を明確にした上で事業を行っていくことで、団体の強みや魅力が増し、その結果「ビジョン」に近付くことができます。広報の基本をおさえ、イベント集客や会員増につなげていきましょう。



昨年度、当センターでは認定NPO法人森ノオト北原まどか理事長を講師に迎え、「団体の広報力UP講座」を開催しました。本年度は更にブラッシュアップした広報講座を開催予定です。どうぞご期待ください！

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

ひらつか市民活動センターの令和7(2025)年度の事業概要をご案内いたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント	4/27(日) 緑化まつり出展		7/26(土) 夏休みこどもわくわくフェスタ			11月下旬 ひらつか市民活動センターまつり						
講座	NPOの広報・情報発信、NPO法人会計・税金相談会、NPO法人の設立と運営、その他											
交流	団体交流会(支援者間交流会・防災座談会)、何かやりたい人が話す場とつながりの会、企業・大学・NPOとのパートナーシップ交流会、他											
NPO・市民活動相談	(ボランティアしてみたい、団体運営で悩みがある等、お気軽にご相談ください) ■ 専門相談(まずはご一報ください、日程調整します) ■ 窓口相談(センター開館日9:00~21:30)											

※詳しい日程・内容は随時ホームページ・情報紙・メールマガジン・FB等でお知らせします。

夏休みこどもわくわくフェスタ 2025 開催のお知らせ

夏休みの一日を楽しく過ごしてみませんか? 楽しく遊んで学べるイベントが盛りだくさん! お友達やご家族お誘い合わせの上ご来場ください!



日時 ● 7月26日(土) 10:00~14:30(入退場自由) 会場 ● ひらつか市民活動センター・崇善公民館
対象 ● 近隣(崇善・松原)学区の小学生及び未就学児・保護者 *ひらつか市民活動センターと崇善公民館の共催事業です。

平塚市情報

6 団体事業が採択 総額145万円!!

● 令和7年度市民活動推進補助金事業

令和7年3月8日(土)に令和7年度に実施する補助事業の審査会を開催し、次のとおり採択されました。今後、補助金に興味のある団体は平塚市協働推進課までお問い合わせください。

入門コース

- ① 子どもの居場所 金田の寺子屋(補助額:10万円)……学習支援に関わる教材と材料の購入・チラシ制作費
- ② しのみやさくらの会(補助額:10万円)……さくらこども食堂の運営に関わる物品購入・ボランティア保険
- ③ Never Not Alone(補助額:4万円)……こども広場・シニア広場開催に関わる物品購入・告知ポスター費



発展コース

- ① 一般社団法人F-STYLEスポーツクラブ(補助額:50万円)……生涯スポーツ“ボッチャ”体験会に関わる備品購入
- ② 認定特定非営利活動法人 JUDO's(補助額:40万円)……柔道による国際交流、市民を対象とした体験教室の開催
- ③ 平塚ゆかりの作家 中勤助を知る会(補助額:31万円)……中勤助平塚居住100周年記念事業 第二弾『しづかな流』市民による手書復刊

チェック!



※事業内容等ははこちら ◆ https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00014.html

編集後記

令和7年度の初めての号をお届けできました。今年度のセンターは団体間のネットワークを引き続き構築・強化しつつ、「何かやりたい」人がその思いを広げて繋がる機会を生み出していきます。出会いと交流が生まれる『場』を、皆様と一緒に作っていきましょう。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。(お)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
神奈川県平塚市見附町 1-8
TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2025年4月15日現在)
登録団体数 ● 449 団体

(内訳 市民活動団体…327 団体、一般団体…122 団体)



センターのマスコット たすけくん & あいちゃん

